

■ちーびし

○執筆者紹介

- ①生年・出身地, ②所属, ③専門領域, ④研究業績,
⑤奄美と関係した活動
の順番で掲載しております。

2) 「鹿児島県の生協とスーパーにおける有機・特別栽培農産物の流通動向」『経済学論集』鹿児島大学経済学会 第57号, 2002年

3) 「並行在来線先発地域との比較検討からみた“肥薩おれんじ鉄道”」『経済学論集』鹿児島大学経済学会 第59号, 2003年

⑤ 奄美委員会委員, 奄美ニューズレター編集担当

■糸尾 達哉 (とらお たつや)

- ① 1955年・青森県
② 法文学部人文学科日本・アジア総合文化講座教授
③ 日本古代史
④ 『日本古代の参議制』(吉川弘文館 1998年)
「鹿児島県京田遺跡出土の「田刀口」について—田堵初見史料の出現—(『鹿大史学』49 2002年)
「刀祢源流考」(『史林』86-2 2003年)

■赤塚 嘉寛 (あかつか よしひろ)

- ① 1936年・鹿児島県
② 鹿児島県大島支庁非常勤職員
③ 1996年まで鹿児島県大島紬技術指導センター勤務。
在職中は大島紬の染色に関する調査研究に従事しました。
④ 「本場奄美大島つむぎ技術ノート」, 1996年
⑤ これから地場産業としての本場奄美大島紬の再生について研究したいと思っています。

■下園 幸一 (しもぞの こういち)

- ① 1968年・鹿児島県
② 法文学部経済情報学科経営情報講座助教授
③ システム設計, 分散ネットワーク(インターネット)
④ 鹿児島市受託研究「鹿児島市行政評価システムにおける評価シート及びデータベースプログラミング研究」, 平成15年度。
鹿児島市受託研究「『かごしまITにぎわい創出事業』に関する調査研究」, 平成15年度。
「離島ブロードバンド教室」, 共著, 情報処理学会研究会(コンピュータと教育)報告, 2005-CE-78, pp. 65-72, 平成17年

■北崎 浩嗣 (きたざき こうじ)

- ① 1960年・佐賀県
② 鹿児島大学法文学部経済情報学科教授
③ 地域計画論, 農業政策論
④ 1) 「綾町におけるJAS法改正後の有機認証と総合基金制度」『経済学論集』鹿児島大学経済学会 第56号, 2002年

○編集後記

■ 奄美ニューズレターも2003年12月のNo.1から月刊誌として発刊し、2年間の長期にわたり、No.24（2005年11月）まで続けることができました。本雑誌の目的は、鹿児島大学全学総合プロジェクト「島嶼圏開発のグランドデザイン－南西諸島における環境ガバナンス型地域政策」の成果を発表することでした。その目的の達成度については、読者のご批評をいただくとして、月刊誌として遅滞なく発刊できたことは、事務局員の一人としても望外の喜びです。

このプロジェクトも本年度で一応の区切りがきますが、今後も島嶼研究の成果を発信していくために、季刊誌として発行を続けてまいります。その第1弾が、本号（冬季号、No.25）にあたります。運営方法も変わり、法文学部内に常置させた奄美委員会が担うことになりました。また、執筆者の枠も広げ、レベルの高い論文ならば、大学院生、科目等履修生からの作品も掲載可能としました。これまでどおり、奄美群島区の地元研究者からの現地レポートも積極的に掲載していく方針です。

本号の研究調査レビューに、科目等履修生の赤塚嘉寛さんの作品を掲載しました。赤塚さんは奄美サテライトの科目等履修生として2年目を迎えています。奄美サテライトで今年度から新設されたプロジェクト研究のレポートを加筆・修正したこの労作に対して、奄美の方々から有益なコメントをいただければと思います。

月刊から季刊に変わり再スタートですが、編集責任者としてこれまで奄美ニューズレターの発行業務に尽力いただいた采女先生（鹿大法科大学院）に、この場を借りて謝意を表します。月刊誌として発行し続けることができたのも、ひとえに采女先生原稿催促の巧妙さによるものでした。ご苦労様でした。

本プロジェクトの今年度のシンポジウム『国際的な文化発信と奄美・沖縄』は、12月3日に、稲盛会館で開催され、盛会のうちに無事終了しました。シンポジウムに先立って行われた4分科会も、会場からの質問で時間が足りなくなるほど、議論していただきました。夜の懇親会では、鹿児島市在住の大笠利親睦会の方々も集まり、名瀬市長はじめ、参加者全員でしま唄、踊りに興じ、交流を深めました。パネラーや報告いただいた先生方、準備に携わっていただいた皆さんに感謝申し上げます。（奄美委員会・北崎）

■ 今回の表紙では、12月3日（土）に開催された、公開シンポジウム・分科会の様子をご紹介します。向かって左側から、第2分科会の様子、パネル展示、受付の様子です。それぞれのテーマに基づき、4つの分科会が発表を行いました。（今徳）

研究責任者 山田 誠

奄美ニューズレター

発行 鹿児島大学

編集責任者 奄美委員会

AMAMI News Letter

発行日 2006年1月25日